

- ・大阪管区気象台の近畿地方1ヶ月予報(7月3日発表)では、向こう1か月の気温は、平年と比較して高い確率が80%、さらに降水量は「少ない」と予想されており、今後の発生に注意が必要である。

2 特徴

(1) オオタバコガ

- ① 主な加害作物: なす科果菜類、うり科果菜類、花き類など

- ② 生態

- ・卵は直径約 0.4mm、色は淡黄色である(写真1)。新葉の先端やつぼみに1卵ずつ産みつけられ、ヨトウムシ類のように卵塊をつくらない。
- ・幼虫は新芽やつぼみ、果実等に穴をあけて食入するのが特徴である(写真2、3)。老齢幼虫の体長は35~40 mm、体色は淡緑色から茶褐色まで変異が大きい。幼虫は5~6齢を経てサナギとなる。
- ・成虫の体長は約 15~20 mm、開長約 35~40 mm、体色は灰黄褐色である(写真4)。1雌当たりの総産卵数は1000~2000個であり、年4~5回発生する。
- ・幼虫は広食性で、多くの野菜類、花き類等を加害する。大阪府内での作物への被害は、6~11月まで続く。特に8~9月の被害が最も多い。



写真1: 卵



写真2: 幼虫



写真3: 水なすの食入痕



写真4: 成虫

(2) シロイチモジヨトウ

- ① 主な加害作物: ねぎ類、しゅんぎく、花き類など

- ② 生態

- ・卵は直径約 0.4mm の球形で、数十~数百個程度が一つの塊となっており、黄白色~灰白色の毛におおわれる(写真5)。
- ・卵からかえった幼虫は、しばらく集団で葉を食害し、成長すると分散して単独で加害する(写真6)。
- ・幼虫の体色は、若齢では淡緑色、中齢以降になると淡緑色、緑褐色、暗褐色と変異に富む。
- ・若齢、中齢幼虫の体長は約 10~20mm、老齢幼虫は体長約 30mm である(写真7)。
- ・幼虫は5齢を経て土中でサナギになり、気温 25℃では9日ほどで羽化する。
- ・成虫は体長約 12mm、翅開帳時は約 30mm である。前翅は灰褐色で、黄褐色の環状紋がある(写真8)。夜間に活動し、長距離移動する。昼間は葉裏や雑草地に潜む。



写真5: 卵塊

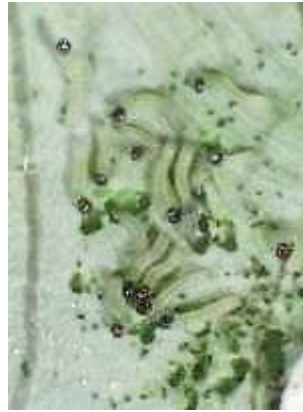


写真6: 若齢幼虫



写真7: 老齢幼虫



写真8: 成虫

(地独)大阪府立環境農林水産
総合研究所提供

※参考: カラー技術資料「シロイチモジヨトウ生態と防除対策」

https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/91954/shiroichi_osaka.pdf



(3) ハスモンヨトウ

① 主な加害作物: さといも、なす科野菜、うり科果菜類、軟弱野菜、花き類など

② 生態

- ・卵は葉裏に、数十～数百個程度が塊状となっており、表面は黄土色の毛に覆われる(写真9)。
- ・卵からかえった幼虫は、集団で葉肉を食害するため、葉の表面がすけてカスリ状になる(写真 10)。成長すると分散して単独で加害し穴をあける。
- ・幼虫は、頭部の後方に2つの黒い斑紋があるので、他のヨトウムシ類と区別できる(写真 11)。
- ・体色は、若齢幼虫では淡い灰緑色で、老齢幼虫(体長約 40mm)では灰暗緑色、暗褐色など変異に富む。
- ・成虫は前翅長 16～17mm、前翅は黒褐色、斜めに交差して走る数条の淡褐色の縞模様が目立つ(写真 12)。



写真9: 卵塊



写真10: 若齢幼虫



写真11: 老齢幼虫



写真12: 成虫

3 防除方法

○基本的な防除

(1) ほ場の見回りをこまめに行い、卵や幼虫の捕殺に努める。また、被害残さや摘除した茎葉や果実には、卵や若齢幼虫が付着していることがあるので、ほ場外に持ち出し処分する。

○侵入・産卵防止

(1) 施設栽培では、開口部を4mm以下の目合いのネット等で被覆する。

(2) 露地栽培では、4mm以下の目合いのネット等でべたがけ、トンネルがけを行う。

○薬剤防除

- (1) 近年、特にシロイチモジヨトウは近隣府県で、薬剤に対する抵抗性が発達し問題になっている。
- (2) シロイチモジヨトウの幼虫は、ねぎの葉身内に食入し、オオタバコガの幼虫は、果実内部やつぼみに食入するなど、いずれも薬剤が届きにくい場合があるので、被害を確認したら直ちに防除する。
- (3) 老齢幼虫になると薬剤の感受性は大幅に低下するので、若齢幼虫のうちに防除を実施することが望ましい。
- (4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。
(系統については、防除薬剤例、病害虫防除指針などを参照)

表1 なすに登録のある防除薬剤例

薬剤名	系統(IRAC)	適用害虫	希釈倍数(倍)	使用時期	使用回数
アフーム乳剤	アベルメクチン系(6)	オオタバコガ ハスモンヨトウ	2000	収穫前日	2回以内
プレオフロアブル	ピリダリル(UN)		1000	収穫前日	4回以内
アクセルフロアブル	セミカルバズン系(22B)		1000～2000	収穫前日	3回以内

表2 トマトに登録のある防除薬剤例

薬剤名	系統(IRAC)	適用害虫	希釈倍数(倍)	使用時期	使用回数
アフーム乳剤	アベルメクチン系(6)	オオタバコガ	2000	収穫前日	5回以内
グレースシア乳剤	イソオキサゾリン系(30)	オオタバコガ ハスモンヨトウ	2000	収穫前日	2回以内
ディアナ SC	スピノシン系(5)		2500～5000	収穫前日	2回以内

表3 きゅうりに登録のある防除薬剤例

薬剤名	系統(IRAC)	適用害虫	希釈倍数(倍)	使用時期	使用回数
アニキ乳剤	アベルメクチン系(6)	ハスモンヨトウ	2000	収穫前日	3回以内
グレースシア乳剤	イソオキサゾリン系(30)		2000	収穫前日	2回以内
ヨーバルフロアブル	ジアミド系(28)		2500～5000	収穫前日	3回以内

表4 しゅんぎくに登録のある防除薬剤例

薬剤名	系統(IRAC)	適用害虫	希釈倍数(倍)	使用時期	使用回数
アフーム乳剤	アベルメクチン系(6)	シロイチモジヨトウ	2000	収穫7日前	2回以内
コテツフロアブル	ピロール系(13)	ハスモンヨトウ	2000	収穫14日前	2回以内
ディアナ SC	スピノシン系(5)	オオタバコガ ハスモンヨトウ	2500～5000	収穫前日	2回以内

表5 ねぎに登録のある防除薬剤例

薬剤名	系統(IRAC)	適用害虫	希釈倍数(倍)	使用時期	使用回数
プレオフロアブル	ピリダリル(UN)	シロイチモジヨトウ	1000	収穫3日前	4回以内
グレースシア乳剤	イソオキサゾリン系(30)		2000～3000	収穫7日前	2回以内
コテツフロアブル	ピロール系(13)		2000	収穫7日前	2回以内

表6 野菜類に登録のある防除薬剤例

薬剤名	系統(IRAC)	適用害虫	希釈倍数(倍)	使用時期	使用回数
ゼンターリ顆粒水和剤 (除キャベツ、はくさい)	BT(11A)	オオタバコガ シロイチモジヨトウ ハスモンヨトウ	1000	発生初期 (収穫前日)	—
デルフィン顆粒水和剤					

表7 花き類・観葉植物に登録のある防除薬剤例

薬剤名	系統(IRAC)	適用害虫	希釈倍数(倍)	使用時期	使用回数
アフーム乳剤	アベルメクチン系(6)	オオタバコガ ヨトウムシ類	1000	発生初期	5回以内
コテツフロアブル (除きく、ストック)	ピロール系(13)	ヨトウムシ類	2000	発生初期	2回以内
コテツフロアブル (きく)					
コテツフロアブル (ストック)					
プレオフロアブル	ピリダリル(UN)	オオタバコガ ハスモンヨトウ	1000	発生初期	4回以内

- ・登録は令和7年7月9日現在
- ・最新情報は農林水産省「農薬登録情報提供システム」で確認してください。(<https://pesticide.maff.go.jp/>)
- ・これら以外の剤については、Web 版大阪府病虫害防除指針も参照してください。
(https://www.pref.osaka.lg.jp/o120090/nosei/byogaicyu/boujo_shishin.html)
- ・各害虫のフェロモントラップ調査結果は以下のリンクから確認できます。
(https://www.pref.osaka.lg.jp/o120090/nosei/byogaicyu/trap_tyousa/r7/r7trap_tyousa.html)